

シングルス準決勝

作成: 山本広報

■平成29年7月26日(水)

8:00 朝食
9:30 選手村出発
10:15～ 男女シングルス準決勝試合観戦
12:00～13:45 練習
斉藤監督は会議出席の為、選手村へ
14:00～15:00 昼食、買い出し
[斉藤監督] 本部監督会議出席
15:30 選手村到着
18:00～19:00 トレーニング
20:00 晩御飯
21:00 本部選手紹介撮影
21:30 ミーティング
22:00～ 解散、就寝

日本代表チームの試合は全て終了しましたので、本で行われた試合の結果を掲載します。

【男子シングルス準決勝結果】

Andres Sebastian Vazquez(エクアドル)[12] ○ 6-3,4-6,6-4 ● Marino Keg(スロベニア) [8]
Jaroslav Smedek(チェコ)[2] ○ 7-6(2),6-0 ● Egor Alexandrovich Panyushkin(ロシア) [2]

【女子シングルス準決勝結果】

Polina Sminova(ロシア)[5] ○ 6-4,1-6,6-1 ● Chiu-Mei Ho(台湾) [1]
Chia-Wen Lin(台湾)[8] ○ 6-1,6-1 ● Verena Fleckenstein(ドイツ) [2]



昼間の日本の練習の様子
この日も台湾のワン選手とカナダのホン選手が練習の相手をしてくださいました。

準決勝を観戦して梶下選手と斉藤監督にコメントを頂きました。

梶下選手コメント

[SFを見て感じたこと]

全体的に見て、アンフォースドエラーが減っていると感じた。

本大会の1R・2Rや日本の選手はミスによる失点で試合が進んでいたが、このレベルになるとウィナーやボールコントロールでミスをさせるテクニックによって試合が進行していることがわかった。

このあたりから平面的でなく、立体的にコートを使い、前後にボールをコントロールができるレベルになってきたと思う。

このレベルで戦うためにはボールが落下するまでの微妙な時間差のコントロールや落下地点を前後に変化させながらミスを誘い出すテクニックが必要になってくる。

今年のデフリンピックのレベルは、日本50位程度のレベルに近づきつつあり、4年後のデフリンピックでメダルを目指すのであれば、攻撃力アップと持久力の向上は必至であり、日本プロ相応の取り組みが求められると考えます。

斉藤監督コメント

セミファイナルになると各選手は正確なショット、フットワークの素早さが凄かったです。

ハンガリー精神がかなり強かったと感じました。

明日は男子ダブルス、女子ダブルス、ミックスダブルスのセミファイナル観戦とTD会議に出席です。